

JPEC World Report

欧州 2026 年 10 月版

ハイライト

➤ 政策動向

- e-SAF 普及促進を目的とした eSAF Early Movers Coalition に加盟するドイツやフランスなどは、ダブルオークション方式による支援方針を相次いで発表した。
- EU 域外からの原油・天然ガス等の調達に混乱を招く懸念もあった EU メタン規則の適用開始を 1 年延期し、2028 年 1 月開始とする提案が欧州委員会から発表された。

➤ 企業動向

- バイオ燃料分野において、ブリュッセル国際空港における移動式 SAF 混合設備のトライアルや、Moeve による大型農業機械向け HVO 100 の供給など実証に関する発表が見られた。
- 水素・合成燃料分野では、INERATEC のフランスでのプロジェクトにおける Haltermann Carless との提携や、同じ INERATEC から、合成 Wax の食品用途への展開も出る動きがあった。

➤ 石油動向

- 8 月の OECD 欧州諸国所の原油処理量は、前月比 4.7% の増加で、前年比でも 1.4% の増加を



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら>

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください>

JPEC World Report

米州 2026 年 10 月版

概 況

◆トランプ大統領の支持率は、物価高を背景に、各種世論調査の平均で低水準に推移しており、11 月 3 日に実施される中間選挙の結果は予断を許さない。物価高対策の観点から、8 日輸出規制を見送ったことに加え、17 日ディーゼル軽油供給増を目的に対ロシア経済制裁を緩和した。

◆10 月初旬、NYMEX 原油先物相場は続落し、1 バレル 90 ドル以下で推移した。しかしながら、6 日の NYMEX で原油先物相場は 3 営業日ぶりに反発した。中東のエネルギー供給の停滞を巡る不透明感が要因で、原油先物は買い需要となる場面の中で、5 日サウジアラビアの 2 つの油田がフーナによる 2 度の攻撃を受けた。

◆EIA は 7 日、「約 1 億バレルの石油在庫の放出を達成し可能な限り早急に完了させる」と発表し、供給増とするディーゼル燃料（軽油）の放出を要することでも合意した。EIA は 3 月に 4 億バレルの石油在庫を放出すると発表したが、その全てが放出されたわけではなく、今後在庫は減少していき、近い将来に放出される見込みである。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。

お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、

下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >

JPEC World Report

中国 2026 年 10 月版

ハイライト

◇8月の市況概況 ※9月の統計データは10月末に更新されるため、次号にて掲載予定

- 原油は、生産量 1,800 万トン(横ばい)、輸入量は 3,800 万トン(前月比 200 万トン増、2 カ月連続で増加)。
- ナフサの輸入量は 70 万トン、前月の 121 万トンから急減。
- 9月の製油所稼働率は、国営石油会社が 77.4%(前月比 0.2 ポイント下落)、地方製油所は 60.9%(前月比 5.7 ポイント上昇)。

◇9月の主な業界動向

- グリーン化(環境対応)の進展：水素、CCUS、グリーンメタノール、グリーンアンモニアを中心とした脱炭素化の取り組みが加速している。中国企業は欧州との水素分野での協力強化や、四川省での水素燃料トラック導入拡大を進める一方、吉林油田では CCUS 技術の商業化と設備の国産化を実現し、インドネシアへの海外展開も開始した。また、広州港で中国初となる同航路向けグリーンメタノール供給が実施されたほか、グリーン水素とバイオマスを活用した世界初のグリーンメタノール商業化プロジェクトや、世界初の



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。

お申し込み後、続きをご覧いただくための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧いただけます。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら>

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください>